



5月18日に庄川・小矢部川総合水防演習が開催されました。総合水防演習は、水防技術の向上・伝承及び水防機関の士気高揚を図るとともに、幅広い主体の参加による地域社会全体の防災意識向上、実践的なシナリオによる災害対処能力のさらなる向上を図ることを目的に、毎年、北陸地方整備局管内の河川で実施しています。立山砂防事務所からは、体験学習コーナーで土石流体感3Dシアターを上映し、土石流の恐ろしさと砂防施設整備の重要性について学習していただき、防災に対する意識を高めていただきました。

開催日時：令和元年5月18日(土) 8:30～11:20

場 所：富山県高岡市出来田地先
(大門大橋上流 大門カイトパーク)

主 催：高岡市、富山県、国土交通省 北陸地方整備局、
富山河川国道事務所水防連絡会

演習項目：

【主な演習内容】

- ①庄川・小矢部川の流域特性にあった水防工法の実施
- ②関係者が一体となったタイムラインに基づく訓練の実施
- ③沿川住民、学生等の参加による実践的訓練の実施
- ④情報提供が避難行動に結び付くような防災教育・水害記録の展示

【体験学習コーナー】

- ①豪雨体験 ②総合学習 ③災害対策車両・パネル展示
- ④流速体験 ⑤土のう積み体験 ⑥地震体験 ⑦土石流体感3Dシアター



オープニングセレモニー



開会式の様子

土石流体感3Dシアター内の様子

178名が体験！



解説員による土砂災害パネルの説明



3Dシアターに並び、訓練参加者の方々



総合学習の様子



流域特性にあった水防工法の実施



タイムラインに基づく訓練の実施



実践的訓練の実施



防災教育・水害記録の展示

